

事業所名

児童ルームスマイルCoCo

支援プログラム(参考様式)

作成日

6年

9月

17日

法人(事業所)理念		「子どもたちが楽しめること」をモットーに 障がいのある子もない子ども達も 保護者も職員も みんなが笑顔でいられる 居場所づくりを目指します						
支援方針		得意な事は伸ばし、苦手な事は少し頑張れるように個別の療育を行いスキルを上げ、お子様や保護者の方の笑顔が少しでも増やせるように取り組んでまいります。						
営業時間		9時	0分	17時	0分	送迎実施の有無	あり	なし
		支援内容						
本人支援	健康・生活	・健康状態の把握・健康の増進・それぞれの子供に適した身体的、社会的訓練・基本的生活スキルの獲得・構造化による生活環境の整備						
	運動・感覚	・姿勢と運動、動作の向上・保有する感覚の活用・感覚の補助及び代行手段の活用・感覚の特性への対応						
	認知・行動	・感覚や認知の活用・知覚から行動への認知過程の発達・認知や行動の手掛かりとなる概念の形成・数量、大小、色形等の習得・認知の偏りへの対応						
	言語 コミュニケーション	・言語の形成と活用・受容言語と表出言語の支援・人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得・コミュニケーション手段の活用(絵や文字)・指差し、身振り、サイン等の活用 ・読み書き能力の向上の為の支援						
	人間関係 社会性	・アタッチメントの形成・模倣行動の支援・感覚遊びから象徴あそびへの支援・一人遊びから協同遊びへの支援・自己の理解とコントロールの為の支援・小集団への参加への支援						
家族支援		必要に応じて相談支援を実施する・個人面談			移行支援		移行支援会議への参加	
地域支援・地域連携		幼稚園、保育園、他事業所との連携を図る			職員の質の向上		月に一度の研修(外部講師)・療育センター等外部研修(各自)	
主な行事等		水遊び・バルーンフェスタ参加・参観日・保護者会・節分						

児童ルームスマイル CoCo 5領域の具体的支援プログラム

健康・生活

ご家庭での検温と（ノート記入）登園時の検温、こまめな水分補給や手洗い、休憩エリアでの休憩を健康状態に合わせて、スケジュールに組み込んでいます。

季節の変わり目等は、衣服の調節が難しいお子様については着替えの支援も行っています。登降園時の準備は、視覚的な指示があることで安心して自ら動き自信を付け自立に繋がる様に支援を行っています。

認知・行動

構造化を取り入れ刺激の少ない場所で学び、注目と自立度が高まる環境を整えています。その中で、先生とお勉強の時間には手先の巧緻性を上げる課題に取り組んだり、お子さんのイメージに近づき興味のある事や興味を持って欲しい事を、楽しみながら学ぶ事でやる気や集中力を高めていける様に配慮しています。認知が上がってきたら少しずつ構造化も外して小集団での活動も行っています。お子様の発達に合わせて、イラストや文字のスケジュールを取り入れ、最も苦手な中止や変更等組み込み切り替えの練習をしています。

運動・感覚

様々な遊具を並べてサーキットを作り、お子さんの「やってみたい！」という気持ちを高め「上手く出来た」と感じて、自己有能感を高めていけるように支援しています。公園等では粗大運動を中心に様々な動きをする事で、ボディイメージが掴め自分の体の使い方を実感でき感覚の刺激も入る様に支援を行っています。

人間関係・社会性

コミュニケーションが苦手なお子様は、支援者との関係を築きながら相手を意識できるような遊びを取り入れています。一方的な関わりも多いため遊びのエリアには、支援者も一緒に入り社会性のアセスメントを取りながら個々に合わせて支援を行っています。個別で活動出来るようになったら段階的に小集団へ参加し社会性を身に付けていけるように支援を行っています。

言語・コミュニケーション

遊びや活動の中で、本人がやってみたいと思える事を取り入れ、要求の手立てを教えたり、コミュニケーションカード等取り入れながら支援者に伝え・伝わる喜びを感じられるように支援しています。お子さんの身近な物や事柄から写真や名詞カードを使用し語彙数も増やし表出することの楽しさも感じられるように設定しています。

家庭支援

個別支援計画時には、モニタリングを行います。年に一度参観日を設け、事業所での様子を見て頂き面談を行います。適宜相談支援を行い、会議への出席も致します。保護者会も開催し、研修や懇親会など行っています。

移行支援

幼稚園保育園などの集団の中で生活出来る様に、発達の評価や移行先との調整を行う。
移行先でスムーズに生活になじめるように、特性に合わせた関わりを確認する。

地域支援・地域連携

地域の中の子どもの居場所作りという観点を持ちながら、地域の社会資源を積極的に活用し遊びや学びの場を広げる。

職員の質の向上

月一回の外部講師の研修、各事業所でのミーティング。
(理解の摺り合わせ・振り返り)
自己研修に取り組んでいます。